

# 地域プロジェクトについて

## ◆ 函館校全学生の1年間必修科目

- ・道南地域の課題解決をはかるPBL（「Problem Based Learning」 & 「Project Based Learning」）型科目
- ・大半の教員が担当、平均6～9名ずつの学生で実施
- ・プロジェクト数は約40（国内最大規模）

## ◆ 地域と協働し実践 ←→ 座学

- ・地域と協働しながら、地域の課題を的確に理解した上で解決するためのプロジェクトを立案・実践

## ◆ 将来地域で活躍するための力を養う

- ・真剣に課題解決に取り組んだ成果は直接or間接？  
→将来地域に残って支える学生を共に育てて頂ければ有難い

# 代表的な地域プロジェクトの概要

## ◆ 外国にルーツを持つ児童への日本語学習支援

函館市で学ぶ児童に対する支援活動。小学校の授業への直接支援に加え、コロナ禍においても可能な遠隔による支援も実施する。

## ◆ 子どものことを考えた地域をつくる！

### ～チャイルドファーストな地域づくり～

逆境に置かれた子どもたちが、人と出会い、挑戦して経験すること、そして将来の選択肢を広げることを支える。

## ◆ 地域における音環境の調査と提案

函館地区のシンボルあるいは観光資源となる音環境の調査や提案を行う。

例：ハリストス正教会の鐘の音（環境庁選定「日本の音風景100選」）

## ◆ Enjoy Study プロジェクト

「学ぶって楽しいよね」をテーマに、様々な学びや友人関係の経験など、多岐に渡り放課後の子ども達へ活動支援をする。

# 2021年度前期 地域プロジェクト 42テーマ

## 地域プロジェクトⅠ・Ⅱ（必修）

### 国際協働グループ

- ◆ The SAS Express Newsletter Project
- ◆ 西部地区における古民家を拠点とした地域活性化プロジェクト
- ◆ 函館ジャーナリズム
- ◆ やさしい日本語と複言語
- ◆ Wikipedian養成プロジェクト  
@ブンガク時々その他
- ◆ 地域としての外国人労働者の受け入れ
- ◆ 外国にルーツを持つ児童への日本語学習支援プロジェクト
- ◆ 哲学カフェ@はこだて
- ◆ 函館でポジティブ思考をもたらす場の調査
- ◆ 口承文芸と現代の地域（3）  
－道南の伝説案内を作成する－
- ◆ 防災教育への活用を目指したやさしい日本語書き換えプロジェクト
- ◆ 函館の国際交流の現状と課題（地球まつり）
- ◆ 函館の国際交流活動の現状と課題
- ◆ 函館と演劇文化 第3弾
- ◆ いさ鉄応援隊が国際政治の観点から持続可能な地域モデルを提案するプロジェクト

### 地域政策グループ

- ◆ 子どもを対象にした法教育プロジェクト
- ◆ 『財政教育プログラム』刷新協働プロジェクト  
with 函館財務事務所
- ◆ HUEレインボーはこだてプロジェクト
- ◆ 『いのちの記憶』語り継ぎプロジェクト
- ◆ 後期近代の時代精神と地域内の公共的  
人員交通における路面電車の役割  
－その延伸の可能性と不可能性に関する  
実証的考察
- ◆ QOL向上支援のための健活プロジェクト
- ◆ 子どものことを考えた地域をつくる！  
～チャイルドファーストな地域づくり～
- ◆ 道南地域くらし応援プロジェクト
- ◆ 障害のある人の地域生活支援プロジェクト  
－NPO法人自立の風かんばすとの連携－
- ◆ & U project
- ◆ 函館に暮らす外国人住民から多文化共生を  
考える

### 地域環境科学グループ

- ◆ 放射線教育のための教材開発とその実践
- ◆ 函館市中学校数学教育研究会と交流する  
プロジェクト
- ◆ 地域とともに原子力発電を環境学的に考える
- ◆ 地域における音環境の調査と提案
- ◆ キャンパスを中心とした地域の環境および  
景観の向上
- ◆ はこだて認知心理学研究会
- ◆ はこだてエコライフ推進プロジェクト
- ◆ 数学を楽しむワークショップ・プロジェクト

### 地域教育専攻

- ◆ Enjoy Study プロジェクト A
- ◆ Enjoy Study プロジェクト B
- ◆ Enjoy Study プロジェクト C
- ◆ 幼児の遊びの中の「学び」の発見  
プロジェクト
- ◆ 万年橋小 寺子屋プロジェクト
- ◆ 特別なニーズのある子どもの余暇支援  
プロジェクト

## 地域プロジェクトⅢ・Ⅳ

- ◆ 外国にルーツを持つ児童への遠隔と対面による日本語学習支援プロジェクト
- ◆ 拉致問題解決のための授業実践プロジェクト